

## 式 辞

馥郁と菊花香る今日の佳き日に、「越前市制施行10周年記念式典」を挙りましたところ、西川知事や本県選出の国会議員をはじめ、ご来賓の皆様にはご多用の中をご臨席賜り、厚くお礼申し上げます。

また、ご来場いただいた多くの市民の皆様と共に、市制施行10周年をお祝いできますことは、私の無上の喜びであり、市政の推進に対する皆様のご支援とご協力に心からお礼申し上げます。

併せて、市制施行10周年に当たり、後ほど表彰をお受けになる皆様には、各分野において多大なご功労とご活躍を賜り、深甚なる敬意と謝意を表する次第でございます。

さて、平成17年10月1日に、旧武生市と旧今立町の歴史と伝統を受け継ぎ誕生した越前市は、丹南の中心都市として新たな歴史を刻み、今月1日に市制施行10周年を迎えました。

この10年間、初代の市長として私は、ご来賓の皆様や市議会をはじめ、多くの市民の皆様のご支援とご協力をいただき、旧市町の融和と一体感の醸成を図り、健全財政を維持しながら、自立都市の基盤づくりを進めてまいりました。

また、政治信条である「現地現場主義」をモットーに、市民との

対話を重視しながら、市民との協働のまちづくりを市職員と一丸となって進めてまいりました。

合併当初においては、国の「三位一体の改革」に伴う厳しい財政見直しを受け、持続可能な「元気な自立都市 越前」を将来像と位置付けた、新市初の総合計画を平成19年3月に策定し、産業活性化プランの策定や池ノ上工業団地の拡張など企業立地の促進、ガス事業の民営化など行財政の改革、中心市街地の活性化などコンパクトなまちづくり、耐震診断結果が悪かった学校施設の耐震化などに積極的に取り組んでまいりました。

その後、世界を揺るがしたリーマンショックの発生を受け、近視眼的な物の見方を排し、長期的な視点に立った「人づくり、ものづくり、まちづくり」の推進を図ることを決意して、平成23年3月に総合計画基本計画の改定やコウノトリが舞う里づくり構想の策定を行い、人と人との絆づくりや自然との共生、歴史と文化の継承などを図るため、工芸の里構想の策定をはじめ伝統産業の振興、こしのくに国府サミットの開催、「夢の教室」など夢を育む教育の推進、子ども条例の制定や「読書のまち宣言」の実施、地域防災力の充実強化や戸谷片屋線の整備などに全力で取り組んでまいりました。

現在は、「半世紀に一度のまちづくり」をテーマに掲げ、本庁舎と今立総合支所の改築、3年後の「福井しあわせ元気国体・福井しあ

わせ元気大会」に向けた武生中央公園等の再整備、北陸新幹線「南越駅」（仮称）の周辺整備など、本市のさらなる発展のために欠かすことができない重要な基盤整備に着手したところであります。

併せて、市制施行10周年を迎えた本年は、「市の鳥」であるコウノトリの放鳥が実現するなど、越前市の豊かな自然環境や越前国府の歴史と文化、1500年の歴史を誇る伝統工芸やものづくりの技術を強くアピールし、今後のまちづくりの方向を明らかにする絶好の機会であることから、先の9月市議会において「環境・文化 創造都市宣言」を行いました。

市制施行10周年を機に、先人が築いてきた本市のすばらしい環境と文化をさらに磨き上げ、新たな魅力を創造し、市民が誇りを持つ「元気な自立都市 越前」を築いてまいる所存でございますので、ご来賓の皆様をはじめ市民の皆様の引き続きのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、ご参会の皆様のご健勝とご活躍、並びに越前市の一層の飛躍・発展を祈念申し上げ、式辞といたします。

平成二十七年十月十日

越前市長 奈良 俊幸